

# 国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの  
メッセージ



## これまでの仕事を大きく変えた海外赴任

### これまでの仕事を大きく変えた海外赴任

シンガポール赴任は、国際業務について初心者だった私にとって、それまでの仕事を大きく変えるものでした。赴任した2013年は、訪日外国人旅行者数が初めて1,000万人を突破した年で、日本が海外から、旅行先としてこれほどまでに高く評価されているのだということ、現地で実感を持って知りました。

シンガポールは人口569万人、うち外国人は164万人。東南アジアのビジネス拠点とする外国企業が多く、金融系企業などで働く欧米人と知り合う機会も多くありました。「シンガポールは本国のように住みやすい。会社設立があつという間にできる。」と言っていたのが印象的です。本国に近い環境で医療が受けられる。外国人子女の教育機関も充実している。東京都は外国から優れた企業や人材を誘致するためにビジネス環境を整備していますが、「未来の東京」が目指す姿がそこにありました。

シンガポール事務所では、日本全国の自治体の職員に8日間、マレーシアへの理解を深めてもらう事業を担当しました。多民族国家・マレーシアで事業を展開するには、人口の6割を占めるムスリムに対する理解が不可欠です。ハラール産業などへの理解を深められるよう、研修内容



マレーシアの大学で日本の地方自治制度について講義

東京都政策企画局海外広報担当 課長代理 松田 美和

を充実させました。また、クアラルンプールからマラッカ、ジョホールバルを経てシンガポールという陸路（バス）での複雑な行程で、事前調整の重要性を学びました。

帰任後、2017年には、小池都知事のシンガポール出張に携わりました。東京都が国際金融都市構想を発表した直後の出張で、現地では世界最大級の金融の国際会議が行われており、絶好のタイミングで知事講演を実施しました。大統領官邸であり、首相府のあるイスタナデリー・シェンロン首相と知事の面会にも携わりました。文化も言語も異なる現地政府機関との調整は不安でしたが、赴任していた際の知識や経験、人脈を活かし、無事終えることができました。

現在は海外広報部門で、海外メディアからの知事への取材や講演を実施する業務に携わっています。海外に東京の施策や魅力をどう発信するべきか常に考えながら仕事をしています。クレア派遣以降さまざまな国際関係業務を経験し、日々成長させてもらっていると感じています。



シンガポールに留学するアフリカからの政府幹部候補生たちにもレクチャー

### プロフィール・ほか

- 現所属：東京都政策企画局海外広報担当 課長代理
- クレア以降の経歴：
  - 2012年4月～ 東京本部総務部企画調査課 主査
  - 2013年4月～ シンガポール事務所 所長補佐
  - 2015年4月～ 東京都政策企画局外務部 課長代理
  - 2020年4月～ 東京都政策企画局政策調整部 海外広報担当 課長代理